

よく遊び じっくり学び 正しく選ぶ 子



緑小だより 10月号

令和6年9月30日（月）

茅ヶ崎市立緑が浜小学校
校長 菅野 康一

【日常生活から始まる問題解決】

夏休みが明けても続く猛暑から子どもたちの安全を守るために、学校では必要に応じ熱中症指数を計測し、安全な外遊び・外体育を心がけています。

運動会の練習も、万全を期して取り組んでいきたいと思っています。保護者の皆様につきましては、各学年から出される練習日程をご覧になって、お子様の体調管理をお願いいたします。

さて、4月18日（木）に6年生が実施した「令和6年度 全国学力・学習状況調査」の本校の結果（国語・算数）を分析いたしましたので、概要をご報告させていただきます。（6年生保護者の皆様には、秋休み前に個人結果をお知らせいたします。）

1. 教科に関する調査

（1）国語

・全設問に対する平均正答率は、全国、県の平均点とほぼ同程度（やや下回る）の結果となりました。

・個別の設問では、「話し言葉と書き言葉の違いに気付くことができるか」の問題の正答率が特に高かったです。

・一方「漢字を文の中で正しく使うことができる」問題の正答率が特に低かったです。（「競技」「投（げる）」）

（2）算数

・全設問に対する平均正答率は、県の平均点とほぼ同程度（全国をやや上回る）の結果となりました。

・個別の設問では、「はじめに持っていた折り紙の枚数を口枚としたときの問題場面を表す式を選ぶ」問題や、「示されたデータから、割合や表に入る数などを読み取って書く」問題の正答率が特に高かったです。

・一方、「問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ」問題の正答率が特に低かったです。（正 72+28、誤 72-28）

教科に関する調査から見えてきたことで、本校が特筆される点として、今年も全国的に見て「**無回答率**」が低いことが挙げられます。国語では、14問中8問・算数では16問中11問が、無回答率0%と、最後まで諦めずに問題に取り組む力が、日頃の授業の中で養われている表れです。そして今は答えを導き出すのにどのように考えるかという「**日常生活からはじまる問題解決能力**」が、問われています。「**自分の生活に関係がある**」と子どもが実感できるような学習環境を設定し、解決していくことで、学ぶことは役に立つという手応えを子どもに感じさせていけるよう、努めてまいります。